

野田市土砂災害ハザードマップ

Noda City Sediment Disaster Hazard Map

土砂災害ハザードマップについて

土砂災害防止法に基づき、千葉県が区域指定を行い、野田市内で土砂災害警戒区域が4箇所(うち、特別警戒区域は2箇所)指定されています。

土砂災害は、突発的に発生することが多く、発生する場所や時刻を正確に予測することが難しい災害です。

いざというときに備えて、土砂災害ハザードマップをご活用いただき、日頃から警戒区域や避難所の位置、避難行動などについて確認しましょう。

土砂災害とはどのような災害か

土砂災害には、土石流、がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)、地すべりの3つの現象があります。野田市では、台風や大雨、梅雨の時期の長時間の雨などによってがけ崩れ(急傾斜地の崩壊)が発生するおそれがあります。

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)とは地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、急激に斜面が崩れ落ちる現象です。

土砂災害ハザードマップの使い方

裏面の地図で、自分が必要とする情報を書き込んで、【自分の防災マップ】として利用してください。また、避難場所までの避難経路を確認しましょう。

● 指定緊急避難場所とは、大雨により土砂災害などから一時的に逃れるために避難する場所であり、避難所は、災害により家屋が倒壊したときなどに避難生活をする施設です。

1

土砂災害の危険箇所を確認する

土砂災害による被害が想定される範囲は、地図面に黄色や赤色で示してあります。自宅周辺の危険箇所を確認してください。

2

避難する場所を確認する

避難場所は地図面に記載してあります。自宅周辺の避難場所の「名称」と「位置」を確認してください。

3

避難経路を考える

自宅から避難場所までの避難経路を考えてください。できるだけ「土砂災害の危険な場所」が少ない経路を選びましょう。

4

非常持ち出し品を準備する

事前に避難するときに持ち出すものを準備しましょう。

土砂災害について、野田市が発令する避難情報と、気象庁が発表する防災気象情報を5段階に整理しました

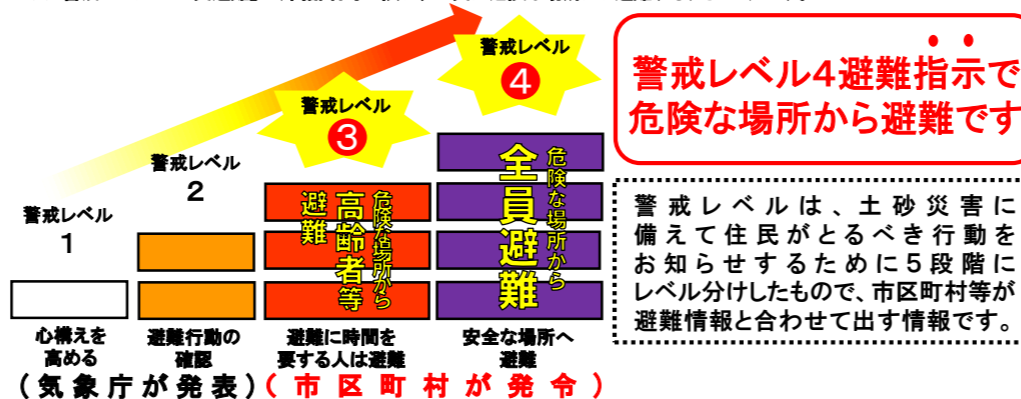
市から発令する避難情報 (警戒レベル3~5) 気象庁が発表する(警戒レベル1~2)		気象庁が発表する 防災気象情報			
警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報等	警戒レベル相当	土砂災害の情報(雨)	土砂災害警戒区域分布(色の持つ意味)
5	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保	5相当	大雨特別警報	—
4	危険な場所から 全員避難	避難指示	4相当	土砂災害警戒情報	極めて危険 すでに土砂災害警戒情報の基準に到達
3	危険な場所から 高齢者などは避難	高齢者等避難	3相当	大雨警報	非常に危険 2時間先までに土砂災害警戒情報の基準に到達すると予測
2	ハザードマップ等で 避難方法を確認	大雨注意報 洪水注意報	2相当	大雨注意報	警戒(警戒級) 2時間先までに警戒基準に到達すると予測
1	最新情報に注意	早期注意情報	1相当	—	注意(注意報級) 2時間先までに注意基準に到達すると予測

野田市から出される避難情報(警戒レベル3~5)

❗ 避難とは難を避けること、つまり安全を確保することです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

❗ 危険な場所から警戒レベル3で<高齢者等は避難>、警戒レベル4で<全員避難*1>です。

*1警戒レベル4「全員避難」は、高齢者等に限り全員が危険な場所から避難するタイミングです。



❗ 警戒レベル5はすでに災害が発生・切迫している状況です。

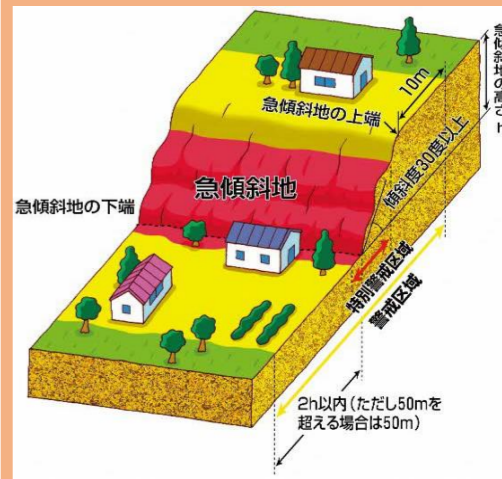
- 警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。
- 警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってははいけません!
- 警戒レベル5は、市区町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。

❗ 警戒レベル4には避難勧告や避難指示(緊急)とありましたが、避難指示に一本化されました。

- 警戒レベル4避難指示では、危険な場所から全員避難してください。

❗ 警戒レベル3は高齢者等は速やかに避難。高齢者等以外の人にも必要に応じ、自主的に避難してください。

土砂災害警戒区域・特別警戒区域について



出典先: 全国地すべり対策協議会

◆ 急傾斜地崩壊危険箇所とは
急傾斜地崩壊危険箇所とは、土砂崩れの危険性があり、1戸以上の人家あるいは学校などの公共施設に被害をもたらす可能性のある急傾斜地(傾斜度30°以上、高さ5メートル以上のがけ)のことです。

土砂災害警戒区域(通称「イエローゾーン」)とは

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害警戒区域の指定範囲

- 傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域
- 急傾斜地の上端から水平距離が10m以内の区域
- 急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍(50mを超える場合は50m)以内の区域

土砂災害特別警戒区域(通称「レッドゾーン」)とは

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域で、特定の開発に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

土砂災害特別警戒区域の指定範囲

急傾斜地の崩壊に伴う土石などの移動により建築物に作用する力の大きさが、通常の建築物が土石などの移動に対して住民の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれのある損壊を生ずることなく耐えることのできる力の大きさを上回る区域

野田市からの防災情報

防災行政無線

防災行政無線を市内212か所に設置しております。また、放送内容を防災無線聞き直しサービス、まめメールにて確認することができます。

防災無線聞き直しサービス
0120-282-283
※無料電話

まめメール

野田市配信の安全安心メール。配信登録すると災害時の避難情報、避難所開設情報、交通規制などを受信することができます。

登録はこちらから



野田市ソーシャルメディア(SNS)まとめ

災害情報公式ツイッター @nodasi_saigai
公式フェイスブック @city.noda.chiba.japan
LINE公式アカウント @nodacity

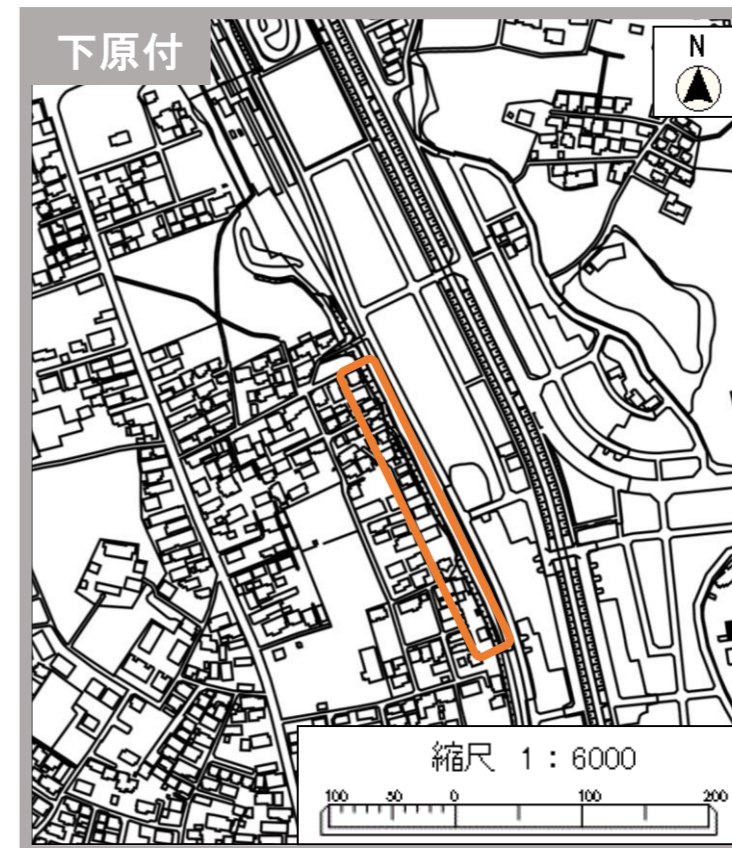
アカウント一覧ページ



野田市ホームページ

https://www.city.noda.chiba.jp/





凡例 ①

市役所・支所・出張所	
公共施設	
警察	
消防	
小・中学校	
鉄道	

凡例 ②

土砂災害特別警戒区域	
土砂災害警戒区域	
急傾斜地崩壊危険箇所	

箇所名	特別警戒区域	警戒区域	危険箇所
瀬戸上灰毛			
上花輪(1)	—		
上花輪(2)			
堤台	—		
下原付	—	—	

指定緊急避難場所一覧〔土砂災害対応〕

名称	所在地	電話番号
生涯学習センター (樺のホール)	中野台168-1	04-7123-7818
福田公民館	瀬戸970-1	04-7138-2407

